

憲法と人権を考える市民のつどい…日本国憲法 9 条の理念を掲げ続けて

入場無料・事前申込不要

2014年
7/31 木

午後6時開場～6時30分開会
埼玉会館大ホール

主催 埼玉弁護士会
共催 日本弁護士連合会
関東弁護士会連合会

海外で戦争する国づくりに
NO!

集団的自衛権を認めるのか!?



青井 未帆
学習院大学教授



なかにし礼
作家・作詩家

お問い合わせ 埼玉弁護士会 さいたま市浦和区高砂4-7-20 電話 048-863-5255

解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対し、非軍事恒久平和主義、立憲主義の堅持に向けた諸活動に取り組む決意を表明する総会決議

1、当会は、基本的人権の擁護と社会正義の実現を使命とする法律家団体の立場から、政府が解釈改憲により集団的自衛権の行使を容認しようとする政策は、立憲主義を根底から覆すものであることから、これに断固反対する。

2、当会は、「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやう」（日本国憲法前文）、非軍事恒久平和主義、立憲主義の堅持に向けた諸活動を広く国民とともに取り組むことを決意し、これをここに表明する。

2014年5月22日

埼玉弁護士会

なかにし 礼

(なかにし れい)

1938年、中国黒龍江省牡丹江市生まれ。立教大学文学部仏文科卒。大学在学中よりシャンソンの訳詩を手がけ、1964年『知りたくないの』のヒットを機に作詩家となる。

ヒットメーカーとして活躍を続け『今日でお別れ』『石狩挽歌』『時には娼婦のように』『北酒場』など約4000曲の作品を創る。『天使の誘惑』ほかで日本レコード大賞を3回、同作詞賞を2回、またゴールデンアロー賞など受賞歴多数。

その後作家活動を開始、『長崎ぶらぶら節』で2000年1月第122回直木賞を受賞。満州からの引き揚げ体験を描いた『赤い月』（映画化・テレビドラマ化・ラジオドラマ化）は100万部に迫るロングセラーとなり、昨夏文学座にて自らの書き下ろし戯曲で上演され、05年12月『戯曲・赤い月』として出版。「天皇と日本国憲法」（毎日新聞社）刊行。

青井 未帆

(あおい みほ)

学習院大学大学院法務研究科教授

信州大学准教授、成城大学准教授などを経て現職。主な研究テーマは憲法上の権利の司法的救済、憲法9条論。著書に『憲法を守るのは誰か』（幻冬舎ルネッサンス）、『国家安全保障基本法批判』（岩波書店）等。



JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線「浦和」駅西口徒歩8分
〒330-8518 さいたま市浦和区高砂3-1-4 電話：048-829-2471